

新型コロナウイルス感染症 拡大防止のための手引き

近 畿 大 学

(令和3年3月27日)

第1版

はじめに

近畿大学では、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、令和2年2月に「新型コロナウイルス対策本部」を設置し、本学医学部や感染症対策コンサルタント等の専門家の意見を取り入れながら、感染状況が日々変化する中、情勢に応じた感染拡大防止策を検討してきました。学生、教職員が一丸となって学内での感染拡大防止策を徹底したことにより、キャンパス内でのクラスターは発生していません。

豊かな人間性を涵養するためには、教員と学生、また学生同士がキャンパス内で時間を共にすることが大切であるとの考えから、今後の教育・研究活動については、感染防止の徹底と学修機会の確保を両立し、キャンパス内で実施することを目指します。そのために「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための手引き」を作成しましたので、学生のみなさんは今一度この手引きを熟読し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分に留意いただくようお願いいたします。

なお、この手引きのほか、各学部等が独自に定めるガイドラインやマニュアルがある場合には、それも併せて確認してください。また、この手引きは、感染状況や政府・自治体の方針等を踏まえて、適宜改訂します。

新型コロナウイルス感染症の基本的知識と感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、一般の風邪の原因となるウイルスの一種で、これまでに流行した SARS や MERS と同じコロナウイルスの仲間です。季節性インフルエンザウイルスと比較すると、全体的な感染力は強く、感染力の動態としては発症の 48 時間前から感染力が強くなり始め、ピークは発症前日でウイルス排出期間は 10 日以内と言われています。また、学生等の若年層に多いとされる無症状患者でもウイルス排出量は多く、感染力も高いことからステルス攻撃型ウイルスと言われており、人からの感染を防ぎ、人への感染をさせないためには、個々人が基本的知識を学び正しい感染予防対策を講じることが必要です。学生の皆様においては、このことを十分に理解し、近畿大学生として、また、社会の一員として、規律ある行動をされることを強く望みます。

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とは

・一般の風邪の原因となるウイルスや、これまでに発生している SARS や MERS と同じ、コロナウイルスの仲間の一つです。ウイルスには幾つかの種類がありますが、コロナウイルスは粒子の一番外側が「エンベロープ」という脂質の膜で覆われており、アルコール等により脂質の膜が破壊されると、その感染力は失われます。

・このウイルスは自身で繁殖することはできませんが、粘膜などの細胞に付着して体内に入り込むことで初めて増殖します。健康な皮膚には入り込むことが出来ず、表面に付着するだけでは体内に入り込めず、手洗いを行うことで流すことが出来ます。また、物の表面に付着したウイルスは、物の種類や周囲環境によっては数時間～72 時間ほど感染力が保持される可能性があります、時間経過とともに壊れて感染力を失います。

2. 新型コロナウイルス感染症の感染経路と感染予防対策について

・主要な感染経路は「飛沫感染」であり、とりわけ「マイクロ飛沫感染」に対し警鐘が鳴らされています。「接触感染」の可能性は限定的ですが、注意喚起の継続が推奨されています。感染経路とその対策については次のとおりです。

①飛沫感染:感染者の飛沫(発生源:発声、くしゃみ、咳、痰を出す、唾を吐く)が周囲 1～2m に飛び散った際に、飛沫と一緒にウイルスが飛び散り、そのウイルスを口や鼻から吸い込むことで、気道粘膜などから感染します。5 分間話すだけで、咳一回分に相当する約 3000 個の飛沫が発生しています。

⇒効果的な予防対策:常時、正しくマスクを着用し、咳エチケットを守る。

②マイクロ飛沫感染:マイクロ飛沫感染は、その発生源は飛沫と同様ですが、飛沫(直径 $\geq 5\mu\text{m}$)よりも小さい微粒子を介する感染です。飛沫は 1～2 メートル程度で落下するのですが、マイクロ飛沫の場合、空気中で拡散してしばらく漂うため、特に換気の悪い密室において発生し易くなります。

⇒効果的な予防対策:飛沫感染同様に正しいマスク着用が有効ですが、抜本的な対策としては「3 密を避ける」ことが大切です。「密閉」された空間で、多くの人(「密集」)と「密接」する行動を避けることが最も重要です。定期的な部屋の換気で、マイクロ飛沫の滞留を解消できます。

③接触感染:感染者の飛沫が付着した物品(媒介物)等に触れると、手にウイルスが付着し、その手で自分の口や鼻を触れることにより粘膜から感染します。

⇒効果的な予防対策:重要なのは、こまめに手洗いすることです。アルコール消毒液を携帯し、自分の手で不特定多数が触れる可能性のある物(ドアノブ、共用物品等)に触れた後には(出来れば、エチケットとして触れる前にも)、その都度、手指消毒を正しく行うことをお勧めします。常にマスク着用を心掛けていれば、不用意に指先で鼻や口を直接触れてしまうことも予防できます。

本学における感染対策について

1. 学内の感染対策に関する基本的事項

(1)入構時の対応

- キャンパスの各門は開放し、サーモセンサを設置して体温測定を実施

(2)入構後の対応

- 感染症発症時の入構者確認のため、カードリーダーでの学生証認証を実施
⇒授業出席時、中央図書館、アカデミックシアター、食堂等
- 建物内の定期清掃を実施(トイレ等の共有部分の消毒・清掃)

(3)学部棟・各号館の対応

- 建屋入口、エレベーターホールへ消毒液を配置
- 各事務部窓口へ、パーテーション及び消毒液を設置

(4)講義室・実験室等の対応

- 教室等の収容定員を超えない範囲で授業を実施
- 教室等の窓や扉を開けて、定期定な換気を実施

(5)食堂の対応

- 消毒液の設置
- 座席へパーテーションを設置
- 教室の一部を食事場所として開放

(6)中央図書館・アカデミックシアターの対応

- 通常よりも時間を短縮して解放
- 施設開放時間:8時45分～22時まで(図書館分室は19時まで)
- 自習室、ACT:8時45分～22時まで(予約制利用可)
- THE GARAGE:9時～18時まで(当面の間)

(7)キャリアセンターの対応

- 就職相談:事前予約制で、Zoomまたは対面相談
- 施設利用:事前予約制で利用可

(8)その他

- 新型コロナウイルス接触確認無料アプリ「COCOA」のインストール、活用を要請
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)
- 22時以降の研究活動は、原則として禁止
- 一般部外者の入構は引き続き制限

2. 学生の行動指針

(セルフプロテクション)

○各自が常時マスクを正しく着用すること(鼻から顎まで覆う状態)

※サージカルマスク規格(注)に準拠したマスクを推奨

(注)箱などに記載のマスク性能表示として、BFE(細菌ろ過効率) $\geq 95\%$ 及び PFE(微粒子ろ過効率) $\geq 95\%$ を確認

○アルコール消毒液(濃度 60%以上)を使用し、何かに触れる前、触れた後に手指消毒を行うこと ※アルコール消毒液を入れた携帯用マイボトル携行を推奨

以上の2点を徹底することで、自らを感染から守り、家族や友人を感染から守ることも繋がります。マスクを着用して公共交通機関をご利用頂ければ、感染者と 1m 以内の距離に乗り込んだとしても、二次感染リスクは 0.1%(→1,000 回に 1 回の頻度)よりもさらに低減化されます。また、マスク(サージカルマスク規格(注)に準拠)を正しく着用していれば、仮に見知らぬ感染者の隣に着席しても、濃厚接触者には該当しません。

後述の動画資料も参照して適切なセルフプロテクションに努めてください。

(通学・入構時の注意)

- ① 発熱又は風邪のような症状がある場合は外出せず自宅で静養すること
- ② 公共交通機関を利用する際は、必ずマスクを正しく着用し、車内での会話は控えめにすること

(構内・施設内での注意)

- ① 三密(密閉、密集、密接の状態が同時に発生すること)の回避は感染対策の基本として非常に重要です。

具体的な実践例は次のとおりです：

○実験室・教室等にドアや窓がある場合は、毎時2回以上、1回2～3分程度全開して換気し、各施設の広さに応じて人との身体的距離の確保に努め、マスクを着用すること。

- ② マスクを着用していない状態での会話や発声は行わないこと。

特に飲食時は、黙食を徹底すること。

- ③ 実験施設内や舞台等で共用使用する設備、パソコンその他の機器・備品は、各自でアルコール消毒液等を用いて消毒清掃を行うこと(なお、アルコールの直接噴霧が障害を与える機器等については、ティッシュペーパーや綿花等にアルコールを含ませて拭くこと)

- ④ その他、研究等活動にあたっては、指導教員等から別途指示された事項を必ず守り、感染拡大予防に努めること

(入構が出来ない方)

- ① 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触が、保健所より認定された方
- ② PCR 検査で陽性判定から14日以内の方、または PCR 検査待ち・結果待ちの方
- ③ PCR 検査で陽性判定から15日以上経過し、何らかの症状が続く方
- ④ 発熱等、風邪のような症状がある方
- ⑤ 外務省から渡航中止勧告等を受けている国へ渡航した方及び当該国在住者と接触した方(帰国または接触から 14 日間は外出・入構を自粛する)

3. 健康管理

(体調管理の徹底)

- 少しでも感染等に見られる自覚症状がある場合は通学を控え、検査受診を行うこと
- ※感染が判明した場合、PCR 検査を受けた場合は、メディカルサポートセンターへ連絡してください。

mail:hoken@itp.kindai.ac.jp /Tel:06-4307-3075

(重症化しやすい方)

- 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患等)などのある方
- 透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方、放射線治療を受けている方
- ※自分自身だけでなく、家族や近親者がこれらに該当する場合も、感染予防のために以下の資料1・2を活用してセルフチェックを行うこと

資料1 行動確認 セルフチェック 感染しやすい行動をとっていないかを確認する

資料2 健康状態 セルフチェック 資料1とともに、毎日の健康状態を確認する

※セルフチェックのため、大学や教員への提出は求めません

※各チェックシートは、経済学部サイトよりダウンロードしてください

行動確認 セルフチェックシート

資料1

※重症化しやすい者：①糖尿病、心不全、呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患等)などのある者

②透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤を用いている者、放射線治療を受けている者

⇒自分自身だけでなく、ご家族・近親者が上記に該当すれば重症化するリスクがあります。チェックシートを活用し感染予防に努めてください

項目		1日目 (月 日)	2日目 (月 日)	3日目 (月 日)	4日目 (月 日)	5日目 (月 日)	6日目 (月 日)	7日目 (月 日)	8日目 (月 日)	9日目 (月 日)	10日目 (月 日)
アルバイト	1. 現在のアルバイト実施の有無 ※なしの場合、1～③の回答は不要	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	1-①マスク着用で勤務	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	1-②勤務中、定期的な手指消毒の実施	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	1-③店舗における3密回避等の感染防止策 (来客のマスク着用義務、座席等でのソーシャルディスタンスの確保、適切な消毒や換気の実施等)	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	1-④食事及び休憩の際の感染予防 (複数名での食事は正面に座らない、食事中やマスクを外して会話をしない等)	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	2. 飲酒の有無に関わらず、複数名での会食・会合等への参加	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
行動	3. 3密状態の店舗や、接客を伴う飲食店の利用 (ライブハウス、カラオケボックス、バー、クラブ等)	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	4. その他3密回避等の対策が行われていない店舗・施設の利用	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし

健康状態 セルフチェックシート

資料2

平熱： ℃		※平熱が分からない場合…1日目の朝・昼・夜・寝る前と4回測定し、その平均を「平熱」としてください。									
項目		1日目 (月 日)	2日目 (月 日)	3日目 (月 日)	4日目 (月 日)	5日目 (月 日)	6日目 (月 日)	7日目 (月 日)	8日目 (月 日)	9日目 (月 日)	10日目 (月 日)
体温が平熱+0.5℃以上 ⇒メディカルサポートセンターへ相談	※(調)で	_____で	_____で	_____で	_____で	_____で	_____で	_____で	_____で	_____で	_____で
いずれかの項目で「はい」の状態が見られた場合は、すぐに「メディカルサポートセンター」または身近な医療機関へ相談	1. においが悪くにくい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	2. 喉がつかつかにくい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	3. せきが出る	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	4. 発熱 (平熱+0.5℃以上)	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	5. 悪寒	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
いずれかの項目で「はい」の状態が2～3日続けば、外出せずに自宅で様子を見ながら、メディカルサポートセンターへ相談	6. だるさ	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	7. 咳	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	8. 痰の量	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	9. のどの痛み	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	10. 頭痛	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	11. 嘔吐	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	12. 下痢	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	13. 鼻水・鼻づまり	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい
	14. 舌が乾く	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい	☐ はい ☐ いい

救急相談センター：#7119で発信

【参考】都道府県が設置している電話相談窓口

大塚市 06-6222-3197 西宮市 079-27-1132 和歌山県 073-441-2170 兵庫県 078-362-9980 滋賀県 077-526-5411(大津市)、077-528-3621(大津市以外)
奈良県 092-222-3421(京都市)、075-414-4726(京都市以外)
広島県 082-513-2567(広島市、呉市、福山市以外の市町)、082-241-4566(広島市)、0823-22-5858(呉市)、084-928-1350(福山市) 福岡県 092-643-3288

4. 動画資料

以下の資料も参照してセルフプロテクションの徹底に努めてください。

○正しいマスク着用方法(約1分)

<https://youtu.be/VdyKX4eYba4>

○正しい手洗い方法(約1分)

<https://youtu.be/Eph4Jmz244A>

○正しい手指消毒(約1分)

https://drive.google.com/file/d/1EZFrOXLI05bdPUKV22jhDFiQcn0Uf_jT/view?usp=sharing

○新型コロナウイルス感染症対策講座(約10分)

「感染症の時代を生きる」(医学部・宮澤教授)

https://www.youtube.com/watch?v=aD_vMFWUf8Y&feature=youtu.be

○確認テスト

<https://forms.gle/uyU5BQ62vjBJTzcT9>

資料1

⇒自分自身だけでなく、ご家族・近親者が上記に該当すれば重症化するリスクがあります。チェックシートを活用し感染予防に努めてください

[illegible]

健康状態 セルフチェックシート

平熱： ℃		※平熱が分からない場合…1日目の朝・昼・夜・寝る前と4回測定し、その平均を「平熱」としてください。									
項目		1日目 (月 日)	2日目 (月 日)	3日目 (月 日)	4日目 (月 日)	5日目 (月 日)	6日目 (月 日)	7日目 (月 日)	8日目 (月 日)	9日目 (月 日)	10日目 (月 日)
体温が 平熱+0.5℃以上 ⇒メディカルサポートセンターへ相談	体 温(朝)	_____℃	_____℃	_____℃	_____℃	_____℃	_____℃	_____℃	_____℃	_____℃	_____℃
いずれかの項目で「はい」の状態が見られた場合は、すぐに 「メディカルサポートセンター」または身近な医療機関へ相談 ※以下の救急相談センターや都道府県の電話相談窓口も活用してください	1. においが感じにくい	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	2. 味がわかりにくい	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	3. せき込む	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	4. 発熱 (平熱+0.5℃以上)	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	5. 息切れ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
いずれかの項目で「はい」の状態が2～3日続けば、 外出せずに自宅で様子を見たうえで メディカルサポートセンターへ相談	6. だるさ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	7. 痰	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	8. 筋肉の痛み	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	9. のどの痛み	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	10. 頭痛	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	11. 寒気	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	12. 下痢	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
	13. 鼻みず・鼻づまり	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ
14. 吐き気、吐く	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	☐ はい ☐ いいえ	

救急相談センター：#7119で発信

【参考】都道府県が設置している電話相談窓口
大阪府 06-6944-8197 奈良県 0742-27-1132 和歌山県 073-441-2170 兵庫県 078-362-9980 滋賀県 077-526-5411(大津市)、077-528-3621(大津市以外)
京都府 075-222-3421(京都市)、075-414-4726(京都市以外)
広島県 082-513-2567(広島市、呉市、福山市以外の市町)、082-241-4566(広島市)、0823-22-5858(呉市)、084-928-1350(福山市) 福岡県 092-643-3288